

会って、聴いて、伝える

奈良県議会議員 ひきだ進一 県政報告

ひきだ通信

vol.2 2022.5 発行



子どもの笑顔があふれるまち。ひらこう、奈良の未来

ご挨拶

平素より、ひきだ進一への活動へのご理解、ご協力を賜り、ありがとうございます。
前回の2月号に続き、今号（5月号）と次号で、県の令和4年度予算と2月25日から3月25日まで開催された2月定例議会の報告をいたします。

奈良県議会本会議での初めての一般質問<p.6 コラム参照>

初めての本会議での質問の機会をいただき、皆さんから頂いた貴重なご意見をもとに、「**30年後の奈良を見据えて、現在の課題に向き合う**」ことを掲げ、次の観点に沿い意見を述べました。

- ① すべての子どもが安心して暮らすことができる奈良、みんなが安心して過ごすことができる奈良を目指す
- ② 行政が先頭に立ってデジタル化を進め、無駄をなくし、効率的で、便利な奈良を目指す
- ③ 今まさに奈良が向き合わなければいけない課題の解決を目指す

上記に基づき、一般質問で8項目、委員会では5項目について意見を述べました。皆様からのご意見をいただいて初めて、しっかりとした意見を県に伝えることができます。今後とも、さらに地域のお声をお聞かせいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



ひきだ しんいち 疋田進一のプロフィール

経歴

昭和51年10月 奈良市生まれ
親愛幼稚園／椿井小学校／春日中学校
奈良県立 奈良高等学校
大阪大学 理学部物理学科
大阪大学大学院 理学研究科
京都大学大学院 法学研究科

職歴

(株)高等進学塾 1999-2013年
駿台予備学校 2009-2013年
堀井いわお参議院議員 公設第一秘書 2013-2021年
2021年 奈良県議会議員補欠選挙初当選

家族構成

妻・長女(5歳)・長男(3歳)・次女(0歳)

地域活動等

行政書士（奈良県行政書士会所属）
保護司（奈良地区保護司会所属）
奈良市柔道協会 顧問
（一社）地域デザイン研究所 会員

趣味

マラソン（奈良陸上競技協会所属）

奈良県議会議員 ひきだ進一事務所

〒631-0021
奈良市鶴舞東町2-13 VIVビル109

TEL 0742-52-5003

FAX 0742-41-5851

MAIL hikida.s1.nara@gmail.com

URL <https://hikida-nara.com/>

SNS @hikida_shinichi



1

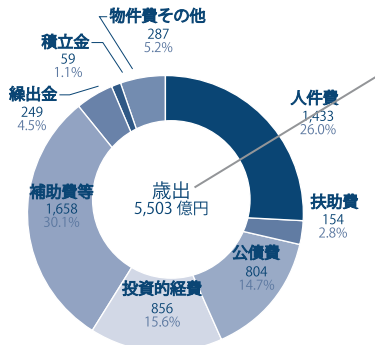
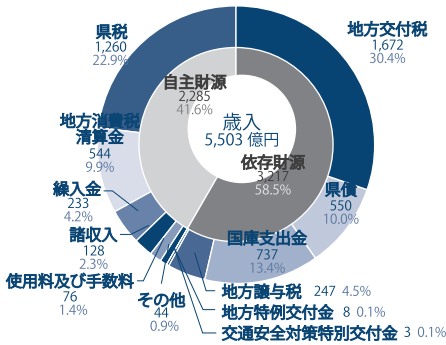
2月議会 本会議

令和4年度予算 - 約5503億円 - が成立

3月25日に令和4年度予算が成立。総額約5503億円（昨年度比で約138億円2.5%増）。

今年度、県の歳入をみると、昨年と比べて県税という自前の財源が増え、一方で県債（借金）を減らすという望ましい方向の予算編成になっていると思います。

また、歳出についても、固定的経費である人件費、公債費等の義務的経費が減少、一方で社会保障にかかわる補助費が増加しています。今後、財政の健全性を確保し、無駄をなくし、将来への投資や課題の解決に向けて、予算付けされた事業がニーズにあった形で実施できているか、注目していきたいと思います。



主な施策

- 1) 新型コロナ対策・影響を受けた県民や事業者への支援策
 - 2) 奈良市八条付近の JR 新駅設置と周辺の整備
 - 3) リニア中央新幹線の「奈良市付近駅」早期確定と街づくり
 - 4) 五條市内「大規模広域防災拠点」整備
 - 5) 奈良市内中町道の駅整備
- 等

出典：奈良県 HP「令和4年度予算について」を参照し作成

2

2月議会 本会議 一般質問①

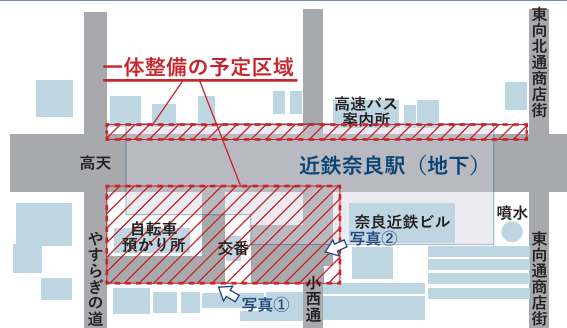
近鉄奈良駅周辺の整備について (要望)

近鉄奈良駅は、多くの人を訪れる奈良公園の玄関口であり、通勤・通学の方々にとっても重要な駅であり、早期の整備を行い、利用しやすくすることが求められています。また、奈良公園方面をはじめ、ならまち、きたまち方面のさらなる賑わいを創出する効果も期待されています。

東口行基前広場と同じように、西口広場についても近鉄駅ビルからやすらぎの道に面する部分までの一体整備に向けて準備が進められています。(下図)

以前より、周辺の自治会や商店街、そして事業者や奈良市との方針や機能面についての勉強会が開催されてきておりました。地元の期待が大きい中で実施時期が見えず、不安の声も聞いています。そこで、次の3点について要望をしました。引き続き、この点については私も尽力していきたいと考えています。

- ① ポストコロナ時期を見据えて、西口整備を推進
- ② 奈良市や関係事業者、近隣商店街、住民の皆さんへの周知とコンセンサスを徹底
- ③ 住民と経済界が一丸となれる形で推進



3

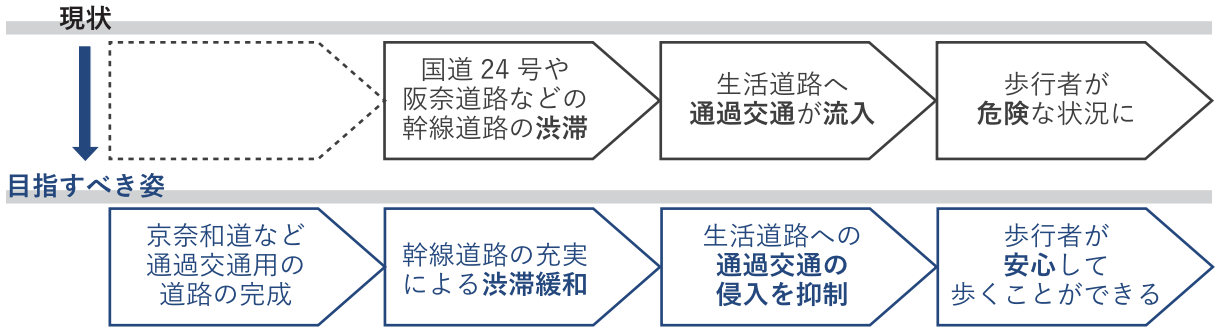
2月議会 本会議 一般質問②

歩道・通学路の安全確保にむけて

自宅や学校の前を、
子どもが安心して歩くことができる奈良

高齢者の方、身体の不自由な方はじめ
すべての人が安心して
歩くことができる奈良になる

本件の質問では、子どもが安心して歩くことができる奈良になるために、**私たちのまちを通過する車を減らす、安全に歩くことができる空間を整備する**、2点が必要であることに焦点をあてました。



安心して歩くための環境づくりとして、(1) 幹線道路の充実（特に東西路線の充実）、(2) 歩道等の整備による歩行空間の確保が必要と考え、それぞれ質問いたしました。

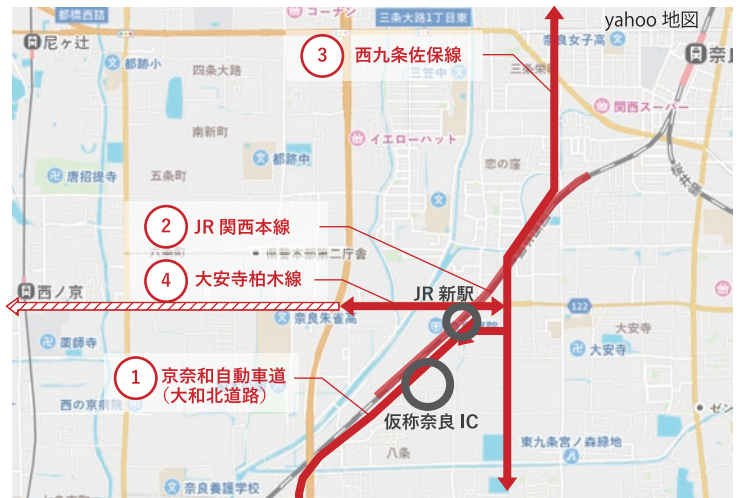
(1) 幹線道路の充実（特に東西路線の充実）

Q A 知事への質問要旨

奈良市八条付近にできる JR 新駅を例にして、新駅へのアクセスとなる京奈和自動車道・南北の道路・東西の道路整備について知事に見解を求めました。

Q A 知事からの答弁

- 1 京奈和自動車道**
県としても最重要事業と位置付け、用地の 80% を取得済み。
- 2 JR 関西本線の高架化**
令和 3 年 1 月に工事施工協定を締結して、本体工事の際の電車運行に必要な仮線路の設置工事を開始。
- 3 西九条佐保線（仮称）**
奈良 IC から大宮通りの新大宮駅南の交差点までの約 2km 区間の路線。用地の約 50% を取得済み。
- 4 大安寺柏木線**
奈良 IC から国道 24 号柏木町交差点までの約 800m 区間の路線。東西のアクセス道路として用地取得を推進中。

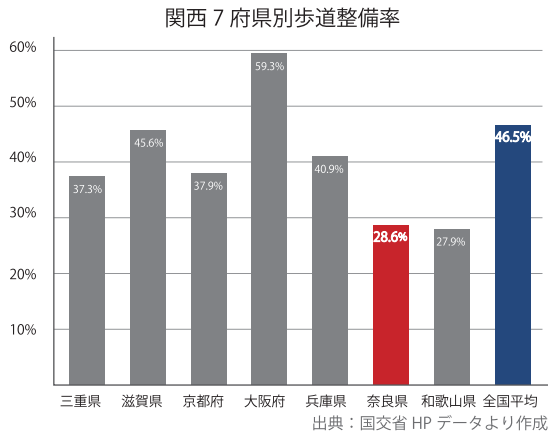


「奈良市 八条・大安寺周辺地区まちづくり基本計画（案）」奈良県・奈良市（令和 4 年 4 月）を参照し作成

奈良市内の南北路線の整備は京奈和道をはじめ、進んでいます。一方、東西路線の整備が進んでいないため、西ノ京駅を通る路線（県道 122 号線 + 市道）や尼ヶ辻駅を通る路線（国道 309 号）は朝夕に渋滞する路線となります。まずは④の**大安寺柏木線の整備を国道 24 号で止めることなく、西ノ京駅そして富雄川までの安全な道路整備を訴えてまいります。**（上図◀箇所）

(2) 歩道などの整備による歩行空間の確保

奈良県は歩道整備が全国平均と比較しても大変遅れています。(下グラフ参照) そのため、写真①のように車のすぐ横を子どもや通勤通学の方が歩いている道路がたくさんあります。



写真①



Q A 県土マネジメント部長への質問要旨

歩道や通学路などの歩行空間の整備について、県土マネジメント部長に見解を求めました。

Q A 県土マネジメント部長からの答弁

- ① 必要性や緊急性が高い箇所を優先して、歩道整備等、対策を推進。
- ② 「交通事故が集中して発生する場所」、「通学路等安全対策が必要な箇所」、「市町村が策定するバリアフリー基本構想にもとづき、駅・病院・公共施設等を含むエリアを設定し、そのエリア内の施設を結ぶ経路等」を中心に優先箇所を選定。
- ③ 国が定める「移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準」に基づき、車いすの方が円滑にすれ違い、通行を可能にする歩道づくりの確保や、段差の解消、視覚障害者誘導用ブロックの設置等を実施。
- ④ 歩行空間の整備について市町村と連携しながら推進。



▲JR 奈良駅東口付近の奈良橿原線 県が推進している歩道整備の様子



すべての整備を一気にすすめることはできないため、**通学路における危険箇所の対策が最重要**であると考えます。それに合わせて、歩道の設置や整備のあり方を、ユニバーサルデザインの観点から見直すべき時期がきているとも考えています。

③ まとめ

みんなが安心して歩くことができるために



- ① 京奈和自動車道、JR 新駅及び周辺整備の早期完成
- ② 奈良市内に不足している東西路線（特に国道 309 号、県道 122 号 + 市道）の整備推進
- ③ 歩道整備を着実に進め、歩く空間を早期に創り出すための施策の推進

4

2月議会 本会議 一般質問③

こども食堂の普及について

こども食堂とは

地域住民や自治体が主体となり、無料または低価格帯で子どもたちに食事を提供するコミュニティの場。近年、全国・県内ともに増加中。(グラフ①)

こども食堂の県内の現状

2022年1月時点



25 市町村

89 箇所

小学校区充足率*

33% (グラフ②)

* 小学校区充足率：県内の小学校区数に対する、こども食堂が1つ以上ある小学校区の割合

こども食堂の奈良県の目標

令和7年までに小学校区充足率**100%**を目指すことを目標とし、現状の課題に対して対策を推進中。

Q A こども・女性局長への質問要旨

こども食堂の運営上の課題をどのように捉え、普及に向けてどのような取組を検討されているか、質問いたしました。

Q A こども・女性局長からの答弁

こども食堂運営の課題

- ① 地元において行政を含む多様な連携体制を整えにくいため、人的・物的・経済的支援を十分に受けられないこと。
- ② 支援を必要とする親子を、こども食堂単独では行政等につなぐことが難しい。

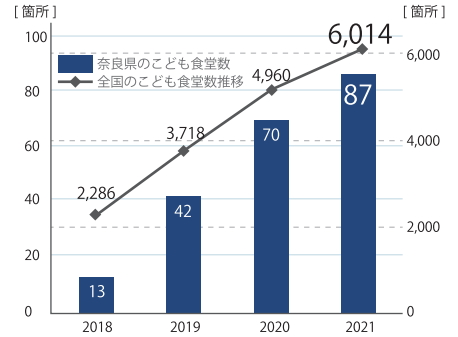
県の令和4年度の取り組み

- ① 市町村や地元の人とこども食堂との交流会や、小規模なこども食堂の試行的開催を支援
- ② 衛生面等の基準として、安心・安全なこども食堂認証制度を創設
- ③ こども食堂の一定期間無料キャンペーンの実施
- ④ こども食堂での規格外の未利用農産物等の活用
- ⑤ 開設時にノウハウを持つコーディネーターを派遣



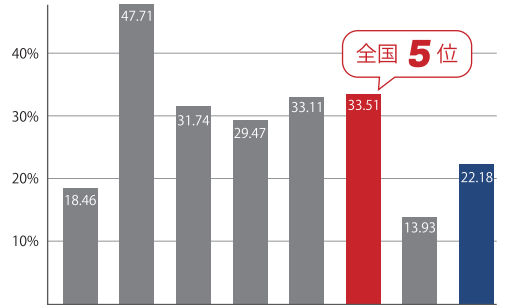
- ① 令和7年までに全小学校区にこども食堂が開設できるように、行政、民間が連携して支援できる体制作りを求めています。
- ② こども食堂は子どもの居場所であるとともに、高齢者はじめ地域の方の居場所となることができるような仕組み作りを推進し、「地域食堂」へと発展させていくことを目指します。
- ③ 子どものセーフティーネットとなっていくために、行政も情報提供を含めたあらゆる支援を可能にできるよう訴えています。

グラフ①：全国・奈良県のこども食堂推移



出典：NPO 法人 全国こども食堂支援センター むすびえ

グラフ②：関西7府県別充足率




出典：NPO 法人 全国こども食堂支援センター むすびえ

2022.1-2022.3 主な活動カレンダー




1 月後半

- 15 同志社大学 赤ちゃん学研究所訪問
- 20 山添村、奈良市東部地域 意見交換会
- 25 へき地教育・過疎対策議員連盟総会
- 26 兵庫県企画県民部等にてこどもに関する施策について意見交換会
近鉄奈良駅近隣地域 意見交換会

2 月

- 6 子ども食育フォーラム
奈良県防災講演会
- 10 伝統建築技術や職人について意見交換会
- 14 へき地教育・過疎対策議員連盟要望に対する説明会 
- 17 こども食堂見学・意見交換会
- 21 南部・東部地域振興特別委員会
- 25 2月定例議会開会
- 26 オンライン講演会にて講演

3 月

- 2~4 本会議
- 6 奈良クラブ キックオフパーティー
- 7~9 本会議（7日一般質問実施）  1~4（中面）
- 11 総務警察委員会 
- 12 自民党第一選挙区支部議員懇談会
- 13 （一社）地域デザイン研究所 研究員研究発表会
- 15 三条通り YAMATOBASE 内覧会
- 19 国定公園平城宮跡歴史公園
大極殿院大極門完成披露式 
- 20 これからのまちづくりシンポジウム in 奈良
- 21 なら歴史芸術文化村開村記念セミナー
- 25 2月定例議会閉会
- 27 自民党山添村支部総会



▲昨年12月に要望したへき地教育対策について、教育長より令和4年度の対策を説明いただきました



▲総務警察委員会で県庁のデジタル化推進および、財政悪化のため県から重症警報を発令された奈良市はじめ、市町村への財政健全化支援策について質問しました



▲平城宮跡の大極殿院大極門完成披露式に出席しました

COLUMN

一般質問って何？

県議会の重要な仕事の1つは県が進めようとしている施策に対して、県民の声を届け、背中を押したり、間違った方向に向かっているときはそれを修正したりすること、また、政策を提言することです。

議員がその声を県に届ける場面は、(1)本会議における「①代表質問」と「②一般質問」、(2)委員会での質問、そして (3)担当課職員に直接面談することです。

	場所/場面 (どこで)	相手 (だれに)	特徴
(1)①代表質問	本会議 (会派を代表して)	知事や教育長、 担当部長や局長	方針や考え方を質問することで 県民の声を届ける。
(1)②一般質問	本会議 (各議員より)	※まとめて「理事者」という	理事者の答え(答弁)は、 県としての公約のような 拘束力を持つため、
(2)委員会での質問	委員会	担当部長や課長	当然のことに思える内容でも 「議事録に残す」ことが重要。
(3)担当課職員に直接面談	直接面談 議会閉会中も可能	担当課職員	議会閉会中でも県民の声を伝え、 検討していただける